

求める

福岡県立久留米高等学校一年 山下 優希

闇になりたい、ふと、そう思った

底深い水に全身を浸けて浮けば

多少なりとも楽になれる

ひとはそこにいるだけでは手に入れないものを

どうしても手に入れたくなるらしい

得たもので逆に苦しくなるとしても

光に居るひとは闇を求め

闇に居るひとは光を求め

尽きず延々と続いていく

つかみこたえのありそうな厚く白い雲が

いつもより早く空を滑っていく

紙に落とした絵の具を

そのままぬり広げる時の感覚

この雲も広げたらべとつと音がしそうだ

彩りある景色

私の浸かる水は真つ暗な天井を映して

さらに闇を湛える

浮かぶだけなのにどんどん私は溶けていく

やがて私も吸い込まれる

モノトーンの景色

光になりたいと思つた